

平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	1	学校名	盲学校
----	---	-----	-----

1. 取組名

奈良県立盲学校理療科 月ヶ瀬治療実習

2. 活動内容

本校高等部保健理療科と専攻科理療科は、あんま・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の国家資格取得をめざすコースである。今年度は、高等部保健理療科7名、専攻科理療科9名が、解剖学や生理学、あんま実技やはり実技などの専門的な学習に日々取り組んでいる。

月ヶ瀬治療実習は、昭和50年台後半、当時まだ月ヶ瀬村が無医村であった頃に、盲学校の職員が月1回程度休日に訪問してあんまなどの施術を行っていたものを、その後昭和60年頃から生徒の実習として実施しているものである。

当日は34人の方々月ヶ瀬福祉センターに集まっていたが、保健理療科と専攻科理療科の2・3年生（10名）があんま等の施術を通じて、交流を深めた。



参加した生徒の声

実習に出始めたばかりの私たち2年生は、胸がドキドキ、緊張感でいっぱいでした。センターには、施術を受けるために多数の方が集まって下さっていて、とても嬉しく思いました。まだまだ未熟な私たちだけけれど、感謝の気持ちをこめて、一生懸命施術をさせていただきました。皆様から「ありがとう」と笑顔で声をかけてもらって、それまでの緊張感や疲れも一気に吹きとんでしまい、本当に嬉しく感じました。終わってから、地域の皆様の手作りのお弁当と果物を美味しくいただきました。年に1度の短い時間の交流ですが、とても心温まる思いがしました。月ヶ瀬の皆様、本当にありがとうございました。またお会いできるのを楽しみにしています。もっと喜んでいただけるように、日々技術を磨いて頑張りたいと思います。

3. 成果と課題

日々の学習の成果を発揮し、将来の職業自立に向けて、実技力やコミュニケーション能力等を向上させる貴重な機会の一つになっている。学校で学んだ知識と技術を、実際の患者さんに受けていただくことで、各自の課題を確認することもできている。課題としては、生徒数と希望される方々との人数調整があげられる。生徒数が少ない年度においては、地域の方々の希望にすべて応えることができないこともある。